

個人投資家向け WEB説明会

2025年3月8日



はたらくをスマートに。はたらく人にスマイルを。

JFE システムズ 株式会社



目次

1

第3四半期決算・年度見通しの概況

P3

2

当社の事業概要

P10

3

トピックス（人的資本について）

P18

4

株式関連情報 他

P26

目次

1

第3四半期決算・年度見通しの概況

P3

2

当社の事業概要

P10

3

トピックス（人的資本について）

P18

4

株式関連情報 他

P26

2024年度 第3四半期 業績（連結：前期比）

- 売上高は、基盤事業および子会社の伸長により増収
- 利益面では、処遇改善による労務費増や、採用関連費用・本社増床工事等のコスト増により減益

単位：百万円

	2023年度 第3四半期実績	2024年度 第3四半期実績	増 減	
			金 額	率
売上高	46,452	47,158	+ 706	+ 1.5%
営業利益	6,044	5,290	△ 753	△ 12.5%
経常利益	6,088	5,351	△ 738	△ 12.1%
(経常利益率)	13.1%	11.4%	△ 1.7ポイント	
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,065	3,741	△ 324	△ 8.0%

2024年度 業績見通し（連結：当初見通しとの比較）

- 売上高は、各事業分野で概ね順調に推移しており、増収の見通し
- 利益面では、鉄鋼事業の増収およびビジネスシステム事業の増収・コスト管理の強化により、増益の見通し

単位:百万円

	2024年度 前回見通し (2024年4月発表)	2024年度 今回見通し	増 減	
			金 額	率
売上高	62,130	64,000	+ 1,870	+ 3.0%
営業利益	6,640	7,340	+ 700	+ 10.5%
経常利益	6,700	7,400	+ 700	+ 10.4%
(経常利益率)	10.8%	11.6%	+ 0.8ポイント	
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,550	5,140	+ 590	+ 13.0%

2024年度 業績見通し（連結：前期比）

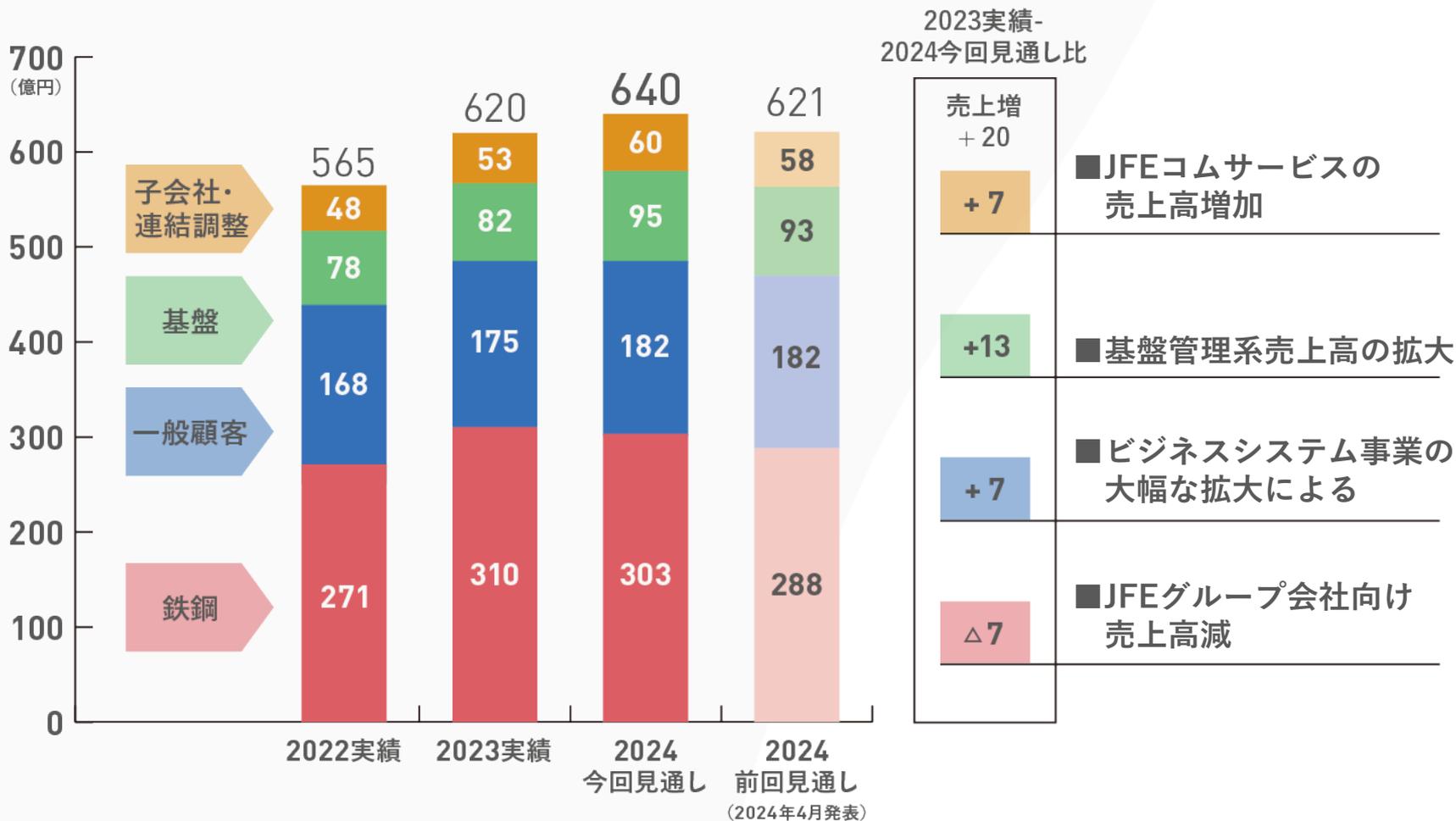
- 売上高は、前述の第3四半期決算と同様、基盤事業と子会社の伸長により増収見通し
- 利益面では、処遇改善による労務費増や人的資本関連経費等のコスト増があるが、増収効果やコスト管理の強化で前年度並みを確保する見通し

単位：百万円

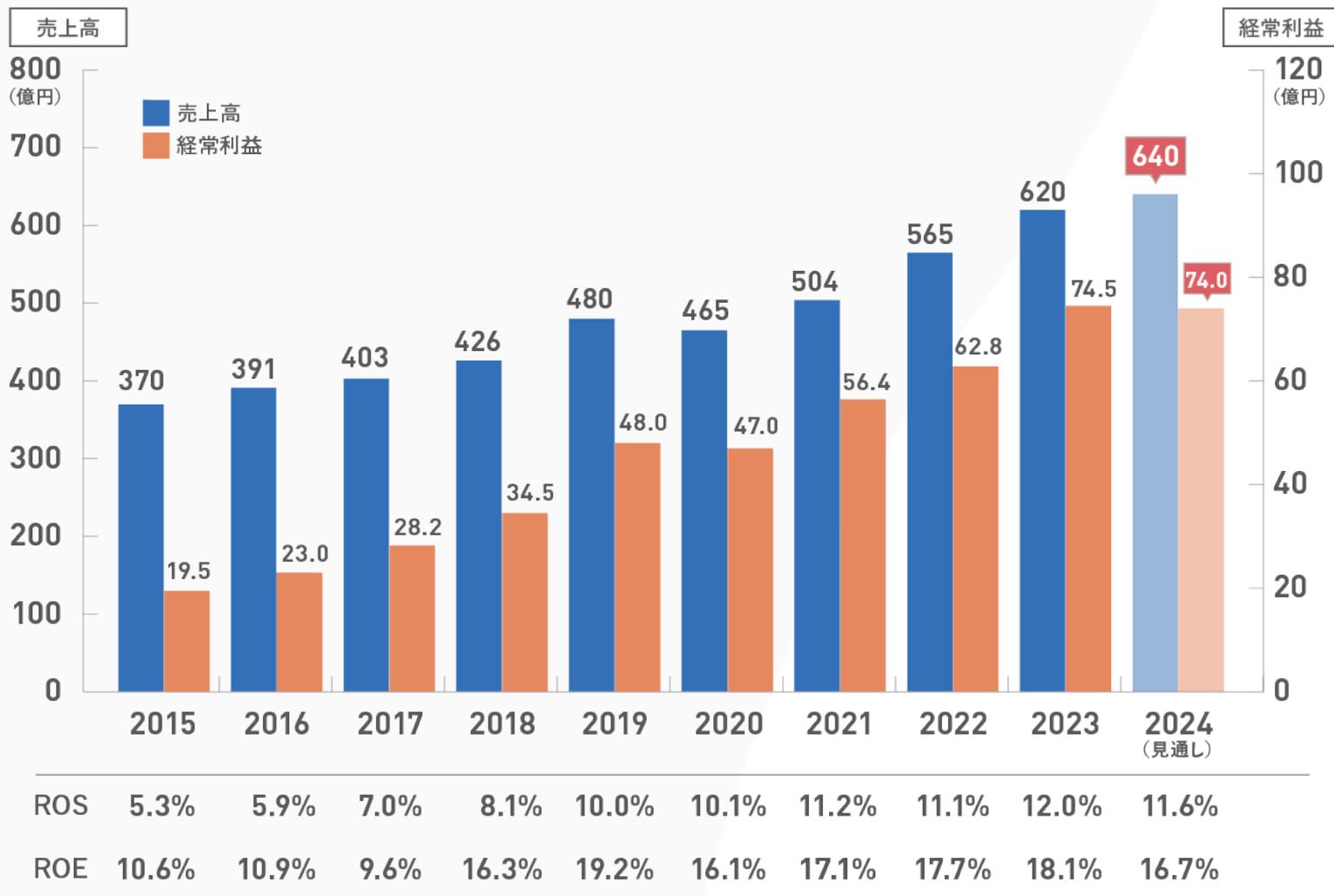
	2023年度 実績	2024年度 見通し	増 減		中期経営計画 2024年度目標
			金 額	率	
売上高	62,033	64,000	+ 1,967	+ 3.2%	57,000
営業利益	7,402	7,340	△ 62	△ 0.8%	-
経常利益	7,452	7,400	△ 52	△ 0.7%	6,600
（経常利益率）	12.0%	11.6%	△ 0.4ポイント		11.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,969	5,140	+ 171	+ 3.5%	4,370

2024年度 事業別売上高見通し（連結）

■ 鉄鋼部門は減収も、一般顧客、基盤、子会社の各事業部門は増収。

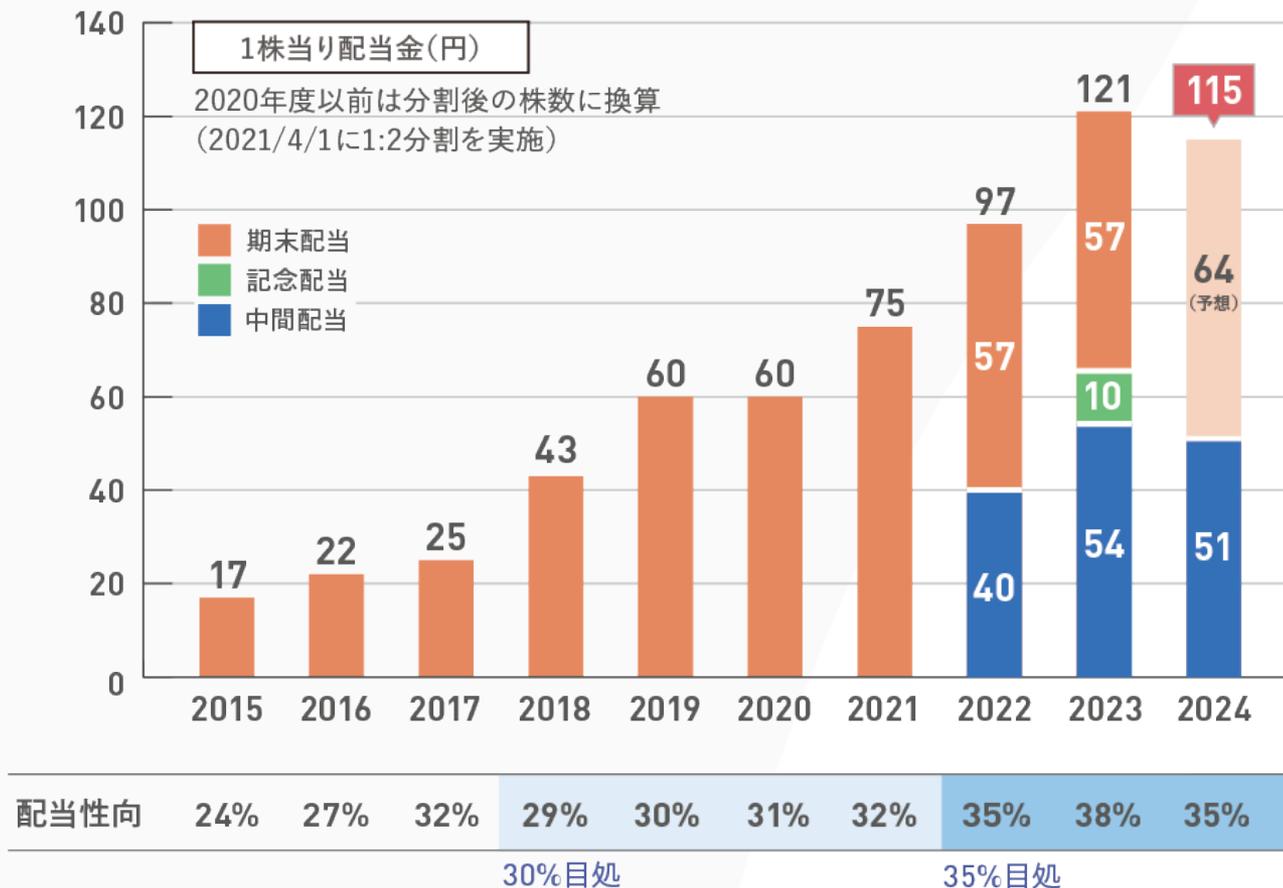


業績推移（連結）



株主還元（配当）

- 通期業績の順調な推移を踏まえ、配当方針である配当性向35%目途に沿って、前回公表値102円→今回115円／株へ配当予想を上方修正。
（前回公表比+13円）



目次

1 第3四半期決算・年度見通しの概況 P3

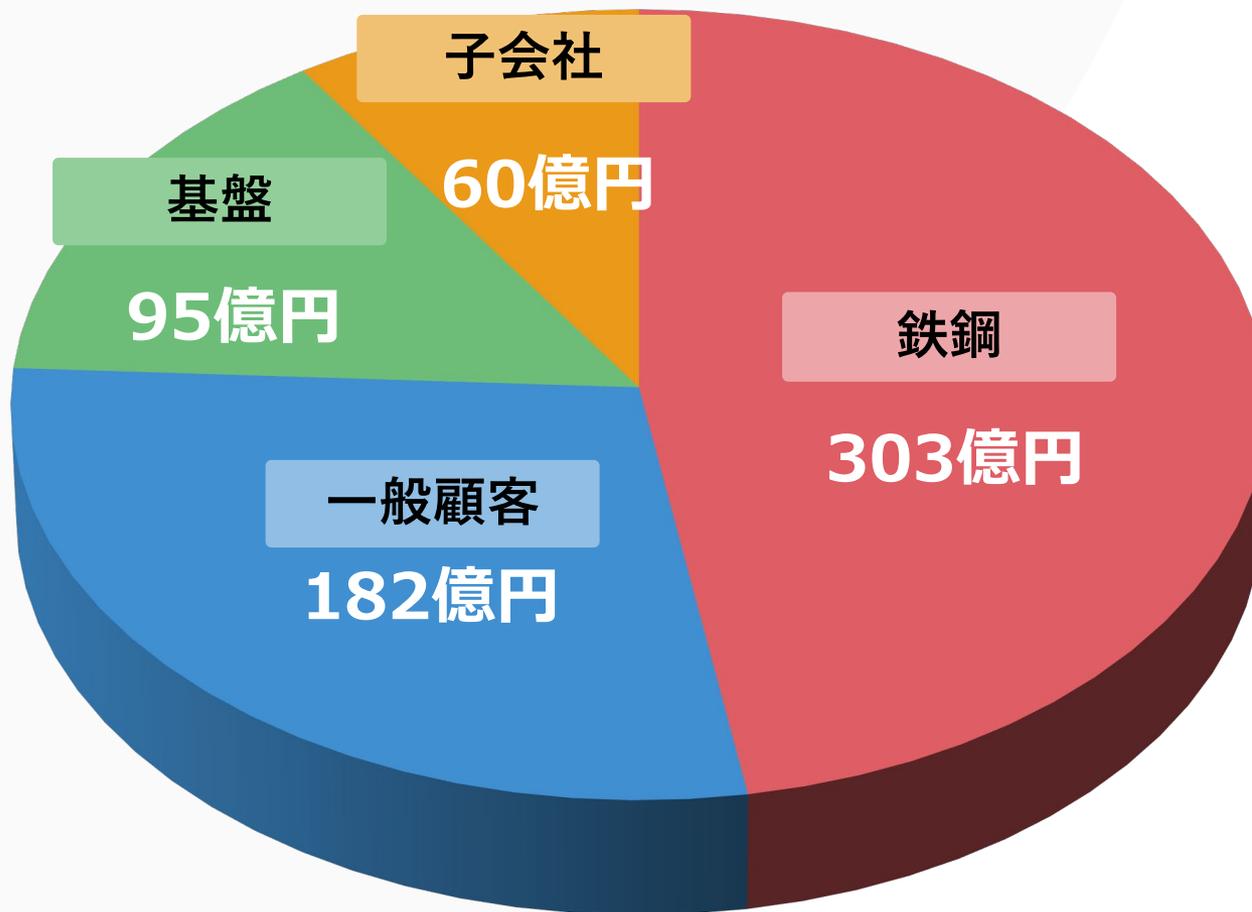
2 当社の事業概要 P10

3 トピックス（人的資本について） P18

4 株式関連情報 他 P26

当社の事業内容 全体概要

2024年度見通し 連結売上高（事業別内訳）



当社の事業内容 全体概要

基盤事業

ITインフラであるネットワーク、
データセンターの構築・運用、
自社ブランドのクラウドサービスと
情報セキュリティ(IT/OT)サービス

【 子会社 】

JFEコムサービス
ITインフラ、JFEグループ会社向け
システム開発に従事
アイエイエフコンサルティング
BI(*)導入コンサルティングサービス

*=ビジネスインテリジェンス；
経営指標を可視化し意思決定に活用する仕組み

一般顧客事業

ソリューション・プロダクト事業

パッケージ化された製品を単体で導入
or複合的に組み合わせシステムを構築

ビジネスシステム事業

豊富な業務知識を基に、製造業等の
お客様のニーズに沿ったシステムを構築

関西事業所

関西のお客様のシステム構築

鉄鋼事業

JFEスチール本社・製鉄所の システム開発

24h365日稼働するJFEスチールの
製鉄所の操業管理を中心とした
システムの構築・改善・維持管理

製鉄所システムリフレッシュ

JFEスチールのDX戦略の根幹である
豊富なデータ資産の活用を可能とする
ための構造改革プロジェクト

当社の事業内容 全体概要

✓ 当社は前頁の各事業において、以下の戦略を掲げ、事業活動を推進。

◎ 7次中期経営計画概要 (2022~2024年度)

事業	戦略概要	活動
鉄鋼事業	製鉄所システムリフレッシュの本格化への対応 →国内最大規模のマイグレーション案件の完遂	①倉敷地区 オープン化率 50%超
一般顧客事業	➤ <u>ソリューション・プロダクト事業</u> →ERP・周辺ソリューション等、幅広く事業を拡大 ➤ <u>ビジネスシステム事業</u> →顧客と連携し、新技術の活用を推進(ローコード等) ➤ <u>DX</u> →JFEGrの実績をもとにDX新規ビジネスの拡大	②マツダ(株)様 から表彰受賞 ③Cognite(株) とのリセラー 契約締結
基盤事業	事業成長を指向して、JFEグループ外の市場を開拓	④AZP(株)との 提携

当社の事業内容 活動状況①（製鉄所システムリフレッシュ）

■製鉄所システムリフレッシュは2027年度完了予定を2年前倒し、2025年度中に完了させる計画。

【これまでの実績】

2021年度 本社システムの脱ホスト完了

2022年度 製造拠点初となる仙台製造所の刷新完了

2023年度 倉敷地区形鋼品種でのオープン化完了

2024年10月 倉敷地区基幹システムのオープン化率が50%超に

当社の事業内容 活動状況②(マツダ株式会社様から受賞)

- 2024年6月、当社はマツダ株式会社様から、2023年度の「最優秀パートナー表彰」を初めて受賞。

【受賞理由】

S&OP領域(*)でのソリューション対応

基盤刷新を効率的に対応

長年にわたるインフラ領域での信頼性の高い保守サービス

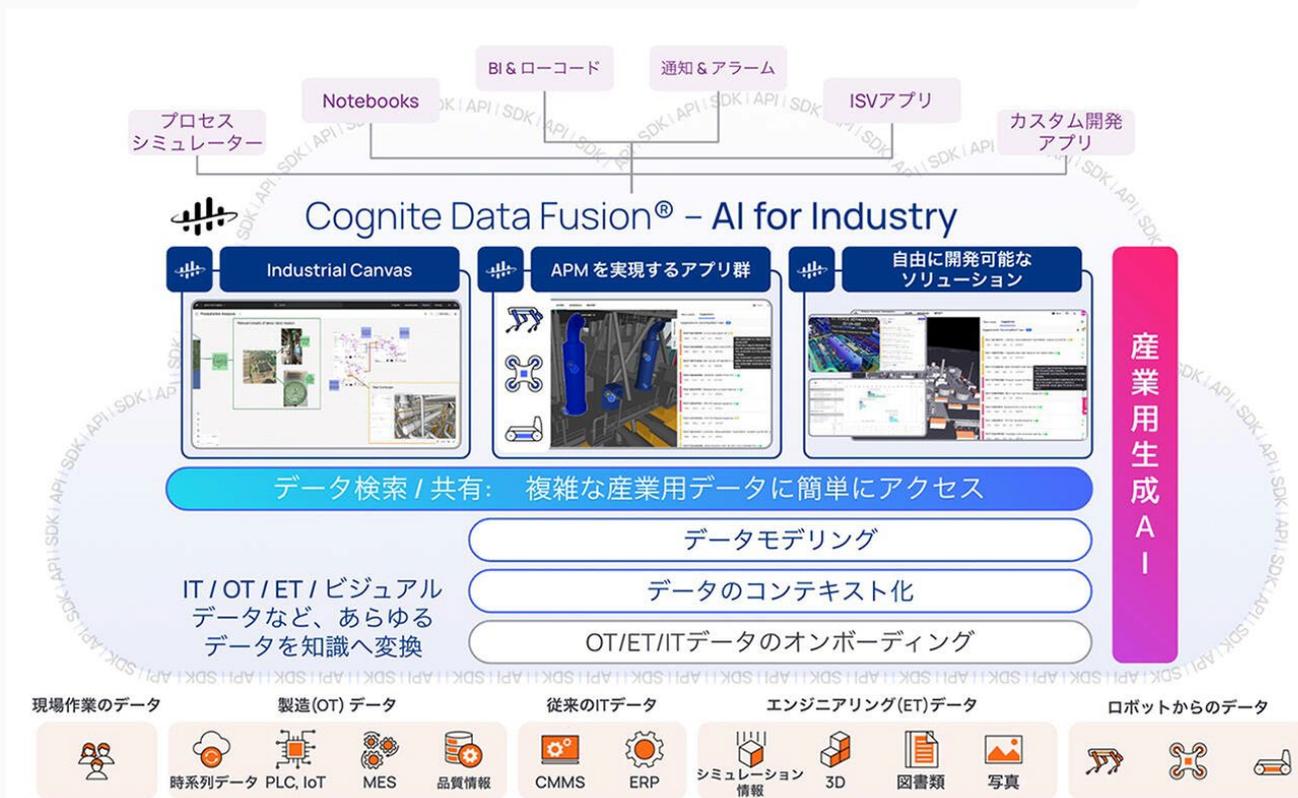
*=販売・生産・調達などの
経営の意思決定プロセスを
早め、サプライチェーン全
体を最適化する手法



今回の受賞に携わった当社メンバー

当社の事業内容 活動状況③ (Cognite(株)とのリセラー契約)

- 当社はJFEスチールが進めるCPS(サイバー・フィジカル・システム)のプラットフォーム構築に「Cognite Data Fusion®」で取り組み中。
- 2024年9月、当社はCognite株式会社とリセラー契約を締結。
- Cognite Data Fusion®の提供により、製造業のお客様のDX支援を拡大。



Cognite Data Fusion® 概念図

当社の事業内容 活動状況④ (AZPower(株)との提携)

- 2024年10月、クラウド事業の拡大および、技術力強化を目的に、「Microsoft Azure」のインテグレーションパートナー(*)である**AZPower株式会社との業務・資本提携を決定。**

*=Azureのサービスを活用して、企業のアプリケーション、システム、データを安全に統合し、管理する専門知識を持つパートナーとして認定された企業

- 本提携に基づく協業を通じ、当社が保有するJFEグループをはじめとする広範な顧客基盤と、AZPower株式会社の高いクラウド知見の相乗効果で両社の**クラウド事業の発展と新たなビジネス機会の創出**を目指す。

【提携概要】

- 業務提携：クラウドインテグレーション事業領域における相互協力
- 資本提携：AZPower(株) 第三者割当増資の引受



目次

- | | | |
|---|------------------------|------------|
| 1 | 第3四半期決算・年度見通しの概況 | P3 |
| 2 | 当社の事業概要 | P10 |
| 3 | トピックス（人的資本について） | P18 |
| 4 | 株式関連情報 他 | P26 |

トピックス (はじめに)

◎ 7次中期経営計画における全社横断施策の概要

施策	概要
投資の推進	新商品開発、サービス提供型ビジネス向け、M & A等
株式施策	株主還元の充実(配当性向の引き上げ、中間配当の実施)
サステナビリティ	5つのマテリアリティ(ITを通じた課題解決、環境負荷の低減、健康経営の実践、多様性の尊重、高水準のガバナンス)の推進
人材育成(人的資本)	高度な技術力を有する人材の拡充、採用数増

<人材育成のポイント>

採用

人材を確保する

研修・教育

確保した人材の
スキルを高める

働きやすさ

仕事に取り組む
環境を整える

エンゲージ
メント

モチベーション
向上で、更なる
レベルup

採用

■ 当社の採用数と社員数

(単位；人)

年度	2020	2021	2022	2023	2024予
採用数(新卒)	56	48	46	63	77
採用数(キャリア)	—	3	10	24	27
合計	56	51	56	87	104

■ 採用強化施策（昨年度資料再掲）

人材コンサルタントの活用

採用の専門家の目で当社の採用施策を見直し、採用数増に繋げる

ターゲットを絞った採用活動

重点地域(“JFE”が浸透している中国地方等)の大学への訪問強化

広告による知名度の向上

パーパス動画（後述）を活用した広告配信(TVer Youtube)等

研修・教育

■ 若手育成と管理職のレベルアップに注力。

階層	注力しているポイント
若手社員	生成AI等の新技術の研修 思考力向上・ディベート等のビジネススキルに関する研修
管理職	クリティカルシンキング、コンセプチュアルスキル、中長期的な事業戦略策定・推進、組織マネジメントに資する研修

■ 研修機会の増大や今後の採用増に備えて、本社の「Smartful Square（スマートフルスクエア）」を新設。



働きやすさ① 服装自由化

- 2024年6月から「**服装自由化（オフィスカジュアル）**」を開始。

※ 一般常識やマナーを守ったうえで、TPOに合わせて社員が自由に服装を選択。

服装自由化(オフィスカジュアル)推進の目的

健康経営

スニーカー通勤、体温調節のしやすい服装

生産性

より働きやすく、意欲的に仕事に取り組める環境づくり

創造性

コミュニケーションのハードルを下げる

働きやすさ② 生成AI活用による生産性向上

- 業務の生産性向上を目的に、
生成AI「Microsoft 365 Copilot」
を全社導入。
- 社内セミナーの開催により、
社員のAI活用をサポート。



【現在の利用状況】

自社アプリのソースコード生成に挑戦中。
カスタマーサービス分野で顧客問い合わせ対応をAI化。

エンゲージメント① ファミリーデー開催

- 2024年8月、浜松町の本社にて「ファミリーデー」を初めて開催。
- 従業員の子供(小学生)を招待し、職場見学・ゲーム・ランチを一緒に楽しみ、夏休みの思い出作りに29組の親子が参加。



大木社長と名刺交換



社員からシールをもらう子供たち



集合写真

エンゲージメント② パーパス浸透活動

はたらくをスマートに。はたらく人にスマイルを。

パーパス実践に向けた4つのステップ

認知



理解



共感



行動



①管理職 Myパーパス研修

2024年4-6月に実施。
管理職が自分のMyパーパスを策定する手ほどきと、職場展開を推進するための研修。

②パーパスアンバサダー活動

各職場から総数62名のアンバサダーを選任し、活動に必要なスキルとノウハウを習得する研修を開催。



■ 企業理念の浸透を通じて、社員一人ひとりの意思・行動の変革や、社内の一体感の醸成など、より強く働きがいを感じられる会社を目指す。

目次

- | | | |
|---|------------------|-----|
| 1 | 第3四半期決算・年度見通しの概況 | P3 |
| 2 | 当社の事業概要 | P10 |
| 3 | トピックス（人的資本について） | P18 |
| 4 | 株式関連情報 他 | P26 |

基本情報

発行済株式総数	15,706,000株
株主数	8,965人(2024年9月末)
大株主	JFEスチール(株) 65.16% JFEシステムズ社員持株会 7.29%
時価総額	574億円
PER	11.17倍
PBR	1.85倍
配当利回り	3.15%

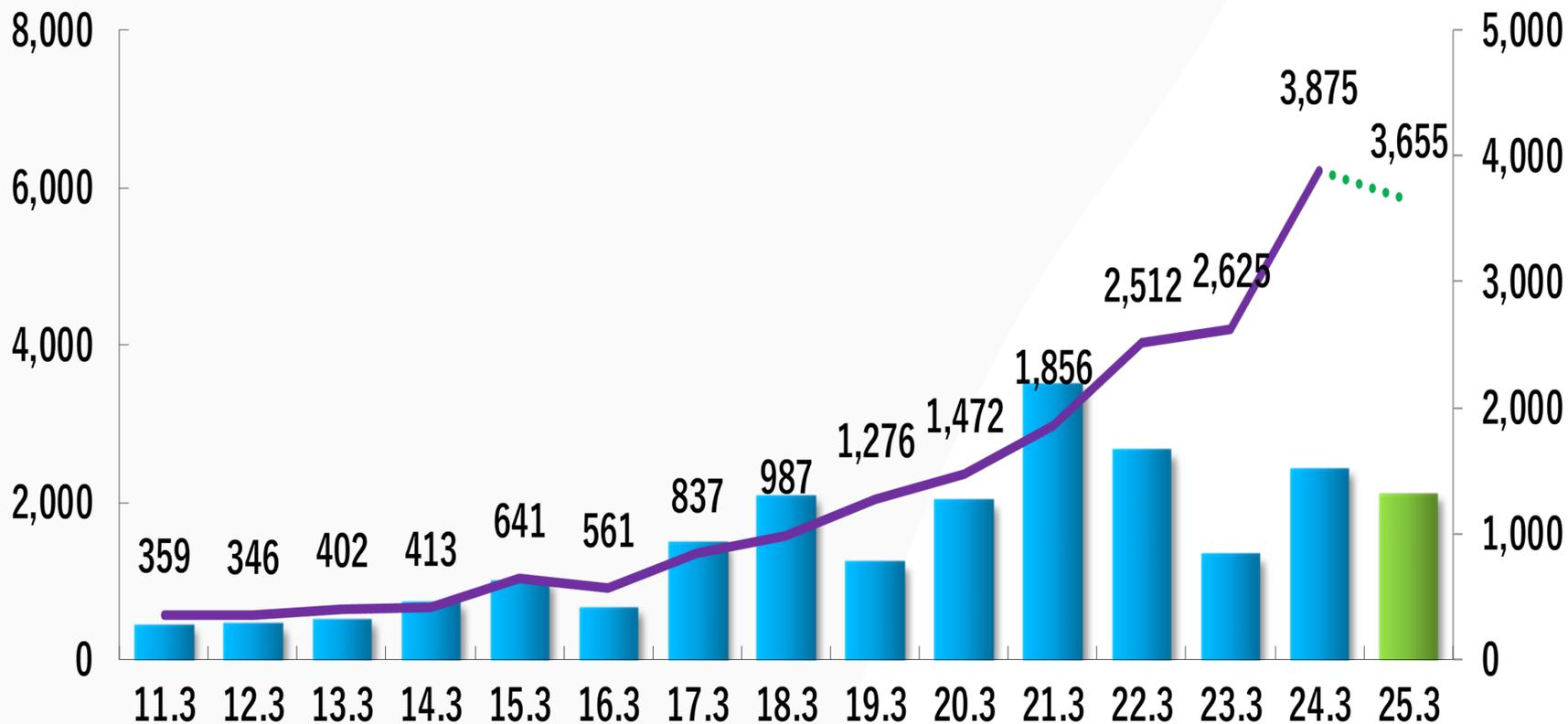
株価 3/5終値 3,655円、配当 115円/株前提にて算出

株価・出来高推移

- 2025年4月1日付で1株を2株に分割する株式分割を実施予定。
- 目的 当社株式の市場流動性の向上
投資家層の更なる拡大

出来高（百株/月）

株価（円/株）



3/5終値

英文開示

- 第3四半期決算より**決算短信の英文開示**をスタート。
- 今後、投資家の要望を確認しながら英文開示の範囲を拡大。
Ex. **適時開示、決算説明会資料、株主総会招集通知** など

東証「英文開示実践の3段階」

	第1段階 英文開示のスタート期	第2段階 英文開示の拡充期	第3段階 積極的な英文開示の実践期
	英文開示を始める段階	英文開示書類の対象範囲を拡大し、速報性向上に取り組む段階	英文開示書類を有効活用し、海外投資家とのエンゲージメントに取り組む段階
決算情報	決算短信（サマリー・財務諸表） IR 説明会資料	決算短信（全文） IR 説明会資料 有価証券報告書（抜粋） ^{8,9}	決算短信（全文） IR 説明会資料 有価証券報告書（全文）
適時開示	業績予想及び配当予想の修正 自己株式の取得	適時開示（全て）	適時開示（全て）
ガバナンス	招集通知、株主総会資料 （株主総会参考書類）	招集通知、株主総会資料（全て） コーポレート・ガバナンスに関する報告書	招集通知、株主総会資料（全て） コーポレート・ガバナンスに関する報告書
サステナビリティ	なし	なし	統合報告書 サステナビリティレポート

おわりに 次期中期計画(2025-27年度)について

- 2025年4月からの次期中期経営計画は、4月下旬の公表を目指し検討中。

目指す姿

- ① 一般顧客事業(外販)と基盤事業の拡大による成長を目指す
- ② 開発知見や技術・スキルの横展開
- ③ 人的資本への更なる投資と事業成長を担保するための社員増

ご清聴ありがとうございました

お問い合わせ先

J F E システムズ株式会社 総務部

〒105-0023 東京都港区芝浦一丁目 2 番 3 号 シーバンスS館

03-5418-2400 (代表)

<https://www.jfe-systems.com/inquiry.html>

(当社ホームページ内の問い合わせフォームから承ります)



JFE システムズ

ご注意 本資料の将来の業績等に関する見通しは、リスクや不確定な要因を含んでおります。
実際の業績は、さまざまな要因により、見通しとは異なる結果となりうることをご承知おき願います。